

(応募小論文) 「麻生区をより住みやすくするための地域づくり」

「住みやすい街」ってどんな街だろう。「ずっと住んでいたい街」「住みたい街」ってどんな街だろう。いろいろと考えてみたが、一言で表現すると「人が健康で長生きする街」だと思う。

平成 17 年の市区町村別平均寿命によると、全国値 男 78.8 年、女 85.8 年に対して、神奈川県は男 79.5 年、女 86.0 年、川崎市は男 79.0 年、女 86.2 年、横浜市は男 79.8 年、女 86.2 年、麻生区は男 81.7 年、女 87.3 年、横浜市青葉区は男 81.7 年、女 88.0 年だった。

その中で注目を集めたのが男性の平均寿命で、全国第 1 位が横浜市青葉区の 81.74 年、第 2 位が川崎市麻生区の 81.71 年だった。第 3 位の三鷹市の 81.4 年に大きく差をつけての第 2 位だったが、川崎市、麻生区が横浜市、青葉区にそれぞれ半歩及ばなかったことが残念だった。

青葉区では 20 年度に区民意識調査を行い、その結果長寿の街である要因について ①健康づくりに関心があり、実践している住民が多いから ②医療、福祉施設等の社会基盤が整っており、安心して暮らせるから ③公園や緑などの自然環境に恵まれているから ④良好な街並みが整備され、快適に暮らせるから ⑤地域活動や趣味を楽しむ環境に恵まれ、いきいきと暮らせるから と考えていることが分かった。

また、青葉区の男性が長寿である原因のひとつとして、男性の自殺が全国を 100 としたとき青葉区は 56.8 と低いことがあげられている。

これらのことは全て、「住みやすい街」の条件だと思う。だから「人が健康で長生きする街」を目指していけば、より住みやすい街になると思う。

区民会議で推進していくとき、重要な視点は

1. 成果が出る活動にすること。そのためには、①戦略的に進める ②費用対効果の高いものを選ぶ ③できるだけ定量的な目標と実績把握を行う ことが必要だと思う。
2. 区民全員を対象にすること。つまり ①健康に恵まれている人はもっと健康に ②普通の人は健康に ③病気がちの人は普通に ④辛い思いをしている人は周囲が温かく支えていく ことが必要だと思う。

最後に、気になる傾向がある。20 年の自殺者数が前年比、全国では 2%減っているのに対して、川崎市では 10%増え、麻生区では 29%増えている。日の当たるところに力を入れるあまり、日の当たらないところへの関心が減っていないか振り返ってみる必要があるのかもしれない。

「地域づくり」活動で一步踏み出して、青葉区を半歩追い抜きたいと思う。

以上

（課題選定で考慮したこと）

1. 緊急性、必要が高く、区民をはじめ他の自治体からも注目されるようなインパクトのある課題、区民会議メンバーにとって達成感を得られる課題を選定する。
 2. 多くの区民にかかわる課題を選定する。
 3. 取り組むのが難しい、実現できるかどうか分からないという思いから、取り組みやすい課題、確実にできそうな課題を選定することがないよう留意する。
 4. 協働、区民の主体性にとられすぎない。 成果をあげることが重要。
- これらを踏まえて、『多くの区民にかかわる戦略的な課題』を選定しました。

（取り組みたい課題）

1. 麻生区 自殺低減 作戦

- （1）目標：H. ○○年に、自殺率（自殺者数／人口10万人） 9.9以下を実現し、以後継続する。

自殺率9.9は、全国トップレベル。 他の自治体から注目を集めるレベル。

先進各国との比較（2009） 日本 24.4 アメリカ 11.0 イギリス 6.4 ドイツ 11.9
フランス 17.0 イタリア 6.3 スウェーデン 13.2 韓国 21.9 ブラジル 4.6。

- （2）方策：

① うつ病の知識習得推進PJ

うつ病などへの偏見を解消する、うつ病がどういう病気かを知る・・・全区民が習得
うつ病の人との接し方、支える方法を習得する・・・半数の区民が習得 を推進する。

② 情報の共有化、活用PJ

麻生警察署等 関係先との情報共有化、活用、対策実施・・・例えば、

ア. 高層アパートでの飛び降り自殺予防・・・高層アパートのオートロック化。

イ. ひきこもりの人への支援・・・麻生区15～39歳のひきこもり 推定1,000人。

- （3）選定理由：

- ① H. 17の男性の平均寿命で、全国第1位の青葉区81.74年、第2位の麻生区81.71年の原因のひとつとして、男性の自殺が少ないことが上げられますが、自殺率は青葉区17.6、麻生区16.1と麻生区がより優れていました。

自殺が少ないことは麻生区の強みです。

- ② H. 20以降 麻生区の自殺率の増加が著しく、早急な対策が望まれます。

男性の自殺者数(上段)・自殺率(下段)

単位：人

区	H. 17	H. 18	H. 19	H. 20	H. 21
麻生区	12	14	14	21	22
	16.1	18.3	17.8	25.9	26.7
青葉区	26	29	27	35	33
	17.6	19.5	18.1	23.5	22.0

2. 働くおかあさん がんばって！ 作戦

(1) 目標：

- ① H. ○○年に、待機児童ゼロを実現し、以後継続する。

H. 22.4 現在 麻生区の待機児童数は 68 人。

H. 22.4 入所・待機児童数

単位：人

区	定 員	入所児童数	待機児童数
横浜市青葉区	2,905	2,834	130
川崎区	2,340	2,369	148
幸区	1,720	1,772	159
中原区	2,870	2,895	207
高津区	2,290	2,397	157
宮前区	1,725	1,816	143
多摩区	2,450	2,625	194
麻生区	1,280	1,325	68
川崎市 計	14,675	15,199	1,076

- ② H. ○○年に、働くおかあさんの多様なニーズにきめ細かくこたえるモデル施設を開設する。

(2) 方策：

- ① 待機児童ゼロＰＪ
- ② モデル施設検討ＰＪ

(3) 選定理由：

- ① 日本はすでに人口減少時代に入りました。これからは都市でも人口が減る時代です。
人口が減ると活力の低下、商店閉店等に伴う生活困難地域の発生、税収減とそれに伴う住民サービスの低下（例えば 介護保険料アップ、ごみ収集の有料化）などが生じます。
- ② 若い家族の転入促進のために戦略的政策をとる動きがあります。例えば 流山市では、駅前に送迎保育ステーションを設置して 30 歳代家族の転入をはかっています。
現代は 戦略的な政策が求められる時代です。戦略の間違ひは戦術ではカバーできないからです。
- ③ 川崎市、横浜市とも待機児童数が増加していますが、麻生区は 68 人と比較的少なく麻生区の強みの一つです。
新聞記事によると、
「横浜市は 5 月 17 日、22 年 4 月 1 日現在の保育所待機児童数が 1,552 人になったと発表した。これは前年に比べ 262 人の増加で過去最多。」
「川崎市で保育所に入所を希望しながら入れない待機児童数（4 月 1 日現在）が昨年より 363 人多い 1,076 人となった。平成 14 年以降で最多。」

3. 添付資料

- (1) H. 9～21 自殺者数・自殺率推移
- (2) H. 22. 4 入所・待機児童数

以上